

令和2年度小樽市自殺対策協議会(書面開催)結果

1 小樽市自殺対策協議会会長・副会長(案)について

承認(18) 不承認(0)

2 小樽市の自殺の現状

3 「小樽市自殺対策計画」に基づく取組状況(令和元年度)

4 「小樽市自殺対策計画」の今後について

5 コロナ禍における自殺対策の重要性

≪ 2～5に対する御意見等が3点ありました。≫

① コロナ禍での自殺の増加が心配です。保健所ホームページに「こころのケアについて」のページがありますが、「小樽、コロナ、自殺」で開けるページから「心のケア」のページにたどりつけるとよりよいのではないのでしょうか。

【対応】ホームページの文書を変更することにより、「小樽、コロナ、自殺」で検索すると「心のケア」が表示されるようになりました。

② 自殺の現状で、小樽市の傾向として30代男性、40代女性が際立って多いが、その理由を知りたい。

【回答】本市の平成26年～平成30年の自殺者の状況を見ると、20～39歳有職同居男性、40～59歳無職同居女性の自殺者数が多くなっております。個別の自殺の原因について把握していませんが、自殺総合対策推進センターが作成した「地域自殺実態プロファイル(2019)」によると、自殺の背景にある主な原因として、20～39歳有職同居男性の場合、職場の人間関係・仕事の悩み→パワハラ+過労→うつ状態→自殺となっており、40～59歳無職同居女性の場合は近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺となっております。

③ 校長会としても、児童生徒のSOSを決して見逃さないよう、各種関係機関と各学校の連携をより一層進めてまいりたいと思います。